

御幸病院



2017
Clinical Indicator

【目次】

1 入院

1-I リハビリの実施単位数

- ①患者1人1日あたりのリハビリ単位数・病棟別
- ②回復期リハ病棟（脳血管リハ）
- ③回復期リハ病棟（運動器リハ）
- ④回復期リハ病棟（廃用リハ）
- ⑤84歳以下・85歳以上・全体回復期リハの実施平均比較
- ⑥心大血管リハ 疾患分類
- ⑦心大血管リハ
- ⑧摂食機能療法

1-II 退院患者

- ①回復期リハ病棟 最終退院先退院患者
- ②心大血管リハ 最終退院先退院患者
- ③心大血管リハ 在院日数

1-III 経管栄養の状況

- ①経管栄養離脱率

1-Ⅳ リハビリによる改善

- ①回復期FIM入院時・退院時の散布図
- ②地域包括病棟FIM入院時・退院時の散布図
- ③心大血管リハ対象患者のFIM入院時・退院時の散布図
- ④FIMの改善（回復期リハ病棟:FIM利得）
- ⑤食事 FIMの改善（回復期リハ病棟）
- ⑥トイレ FIMの改善（回復期リハ病棟）
- ⑦移乗 FIMの改善（回復期リハ病棟）
- ⑧移動 FIMの改善（回復期リハ病棟）
- ⑨2017年度回復期リハ病棟実績指数（アウトカム）
- ⑩FIMの改善（心大血管リハ:FIM利得）
- ⑪オムツ離脱率（回復期リハ病棟）
- ⑫摂食嚥下能力のグレード（回復期リハ病棟）
- ⑬5m歩行速度の改善（心大血管リハ）
- ⑭握力の変化（心大血管リハ）
- ⑮ LVEFによる心不全分類（心大血管リハ）
- ⑯ウォークエイド FIMの改善
- ⑰ウォークエイド実績 月別使用時間
- ⑱ウォークエイド実績 年間病棟別使用割合

1 入院

1-I.リハビリ実施単位数

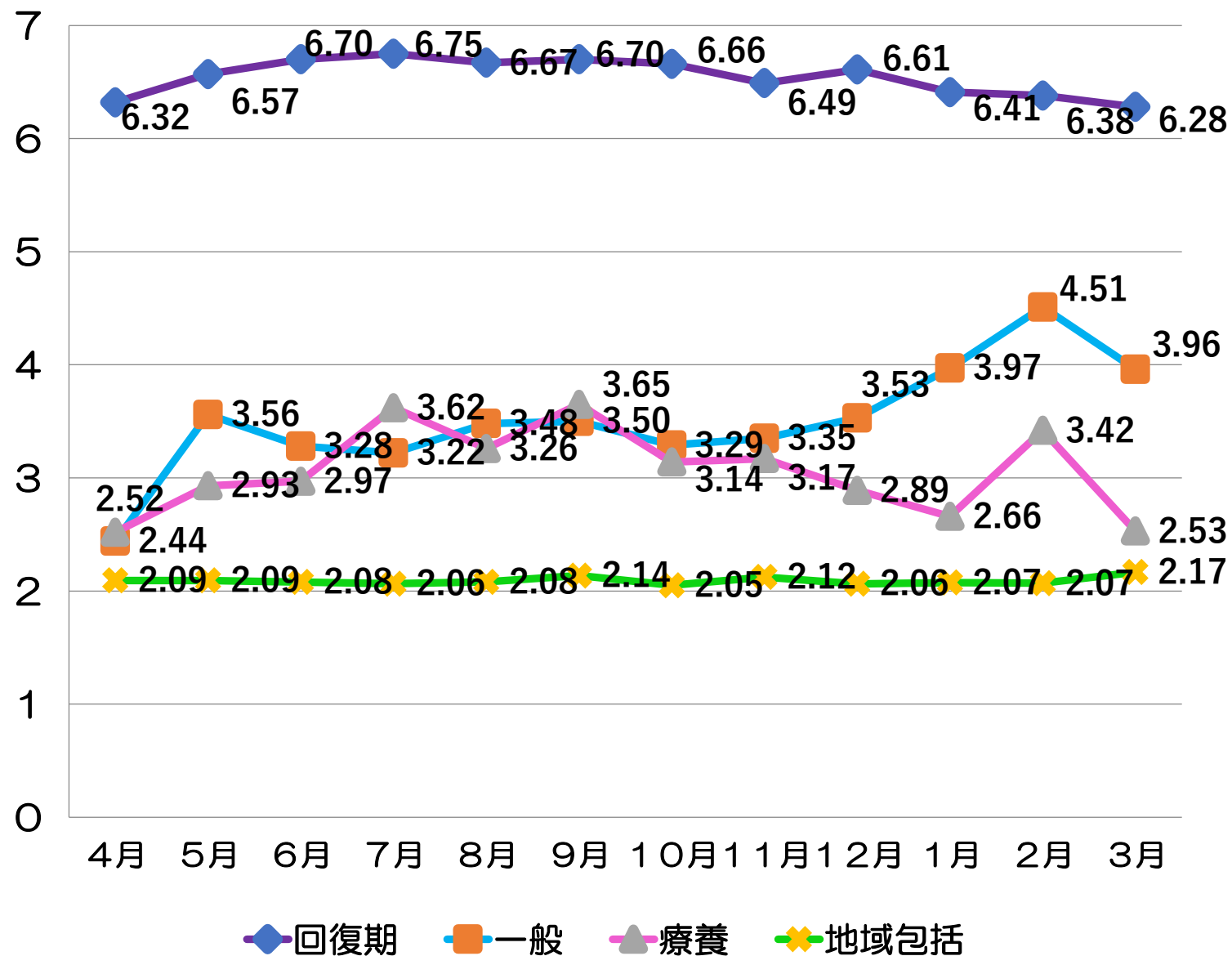
①1患者1日あたりのリハビリ単位数

当院では、

1日平均 回復期 :6.55単位、
 一般 :3.51単位、
 療養 :3.06単位、
 地域包括:2.09単位

(1単位=20分) の個別リハビリテーション
 を実施しております。

2017年度 各病棟リハビリ実施単位数



②回復期リハ病棟

脳血管リハ

1患者1日あたりのリハビリ単位数

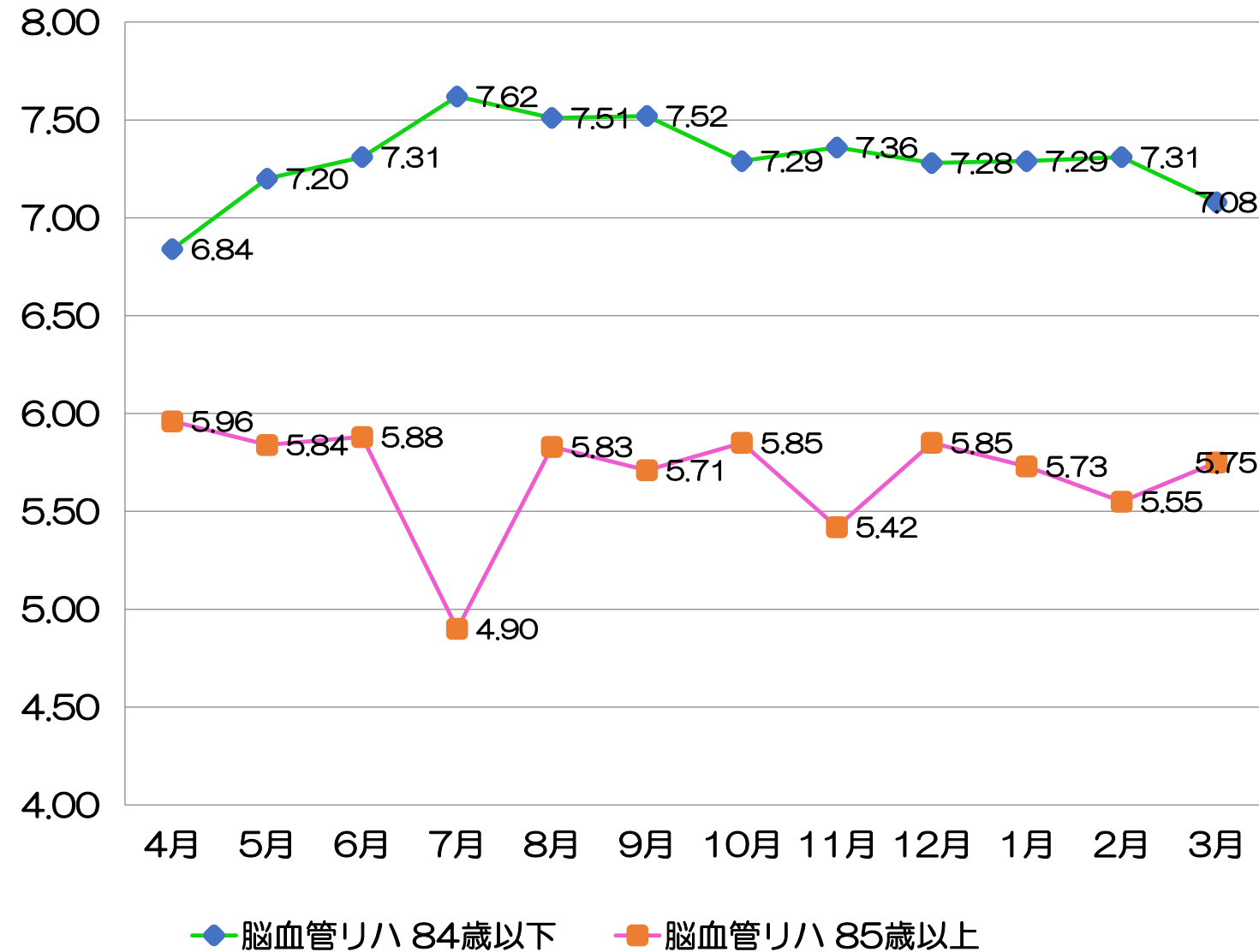
脳血管リハの

84歳以下は、1日平均7.30単位、

85歳以上は、1日平均5.69単位の

個別リハビリテーションを実施しております。

脳血管リハ84歳以下・85歳以上

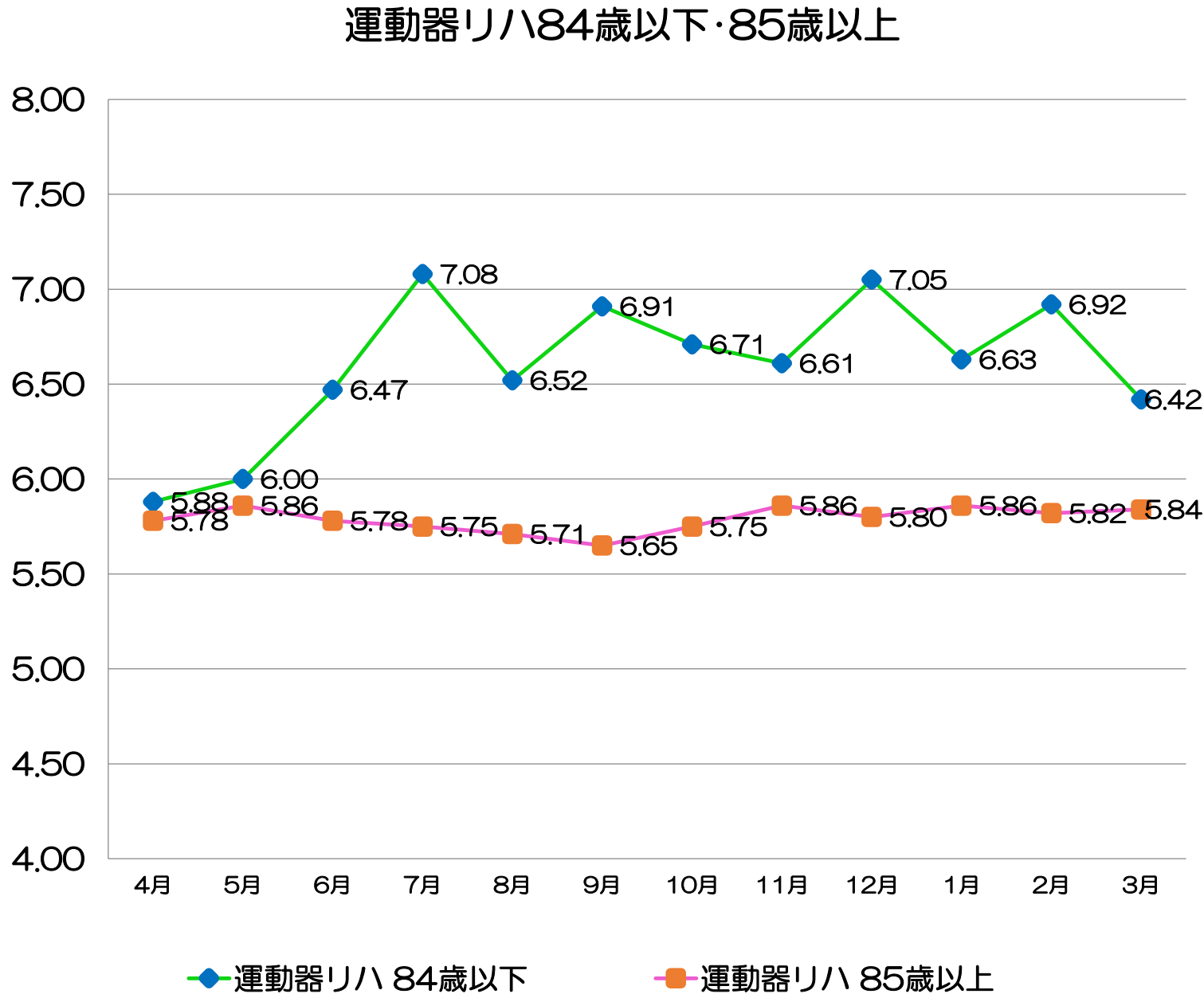


③回復期リハ病棟

運動器リハ

1患者1日あたりのリハビリ単位数

運動器リハの
84歳以下は、1日平均6.60単位、
85歳以上は、1日平均5.79単位の
個別リハビリテーションを実施しております。



④回復期リハ病棟

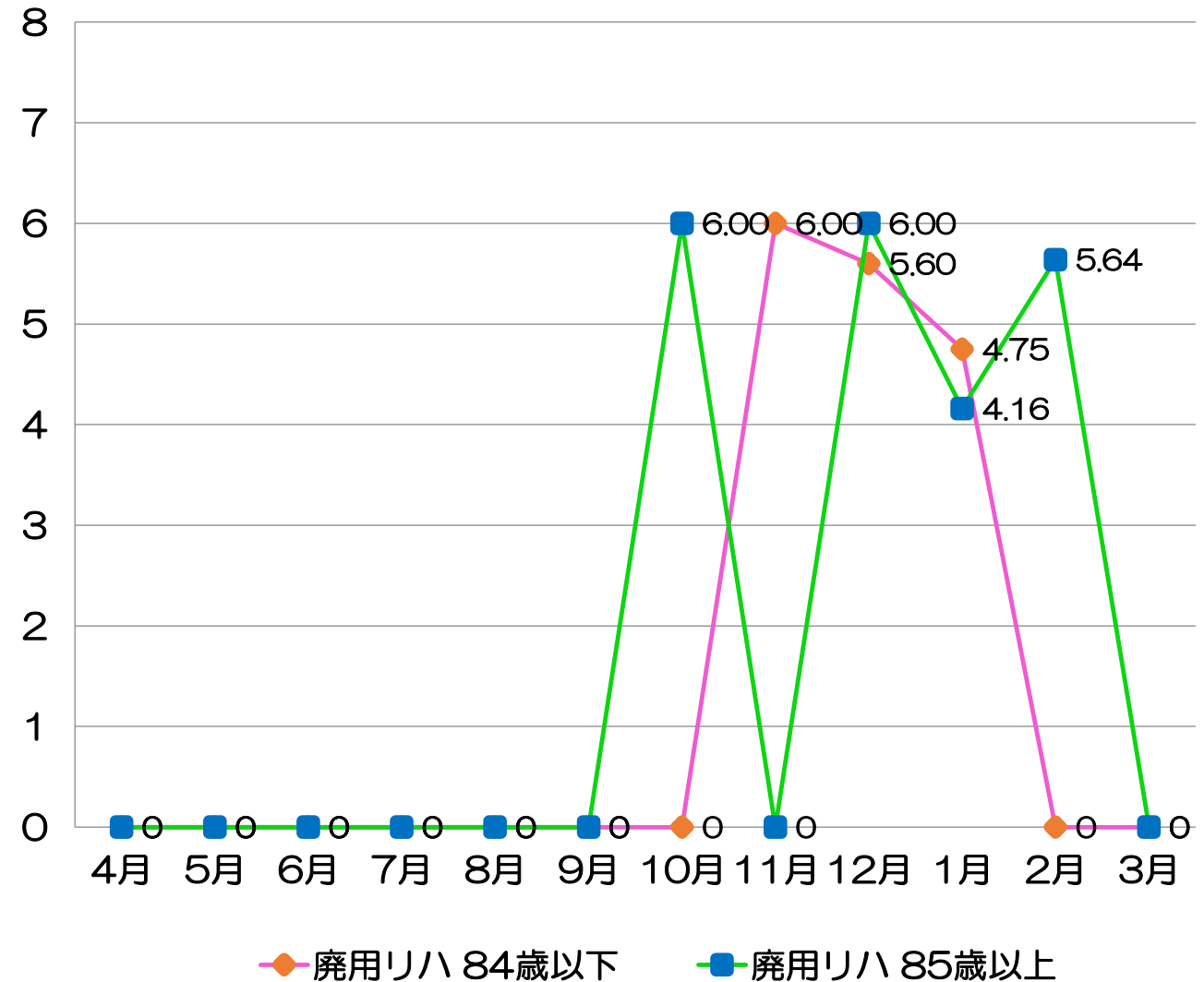
廃用リハ

1患者1日あたりのリハビリ単位数

廃用リハの

84歳以下は、1日平均5.45単位、
85歳以上は、1日平均5.45単位の
個別リハビリテーションを実施しております。

廃用リハ84歳以下・85歳以上



⑤回復期リハ病棟

年齢別及び全体

：84歳以下・85歳以上・全体回復期リハ
の実施平均比較

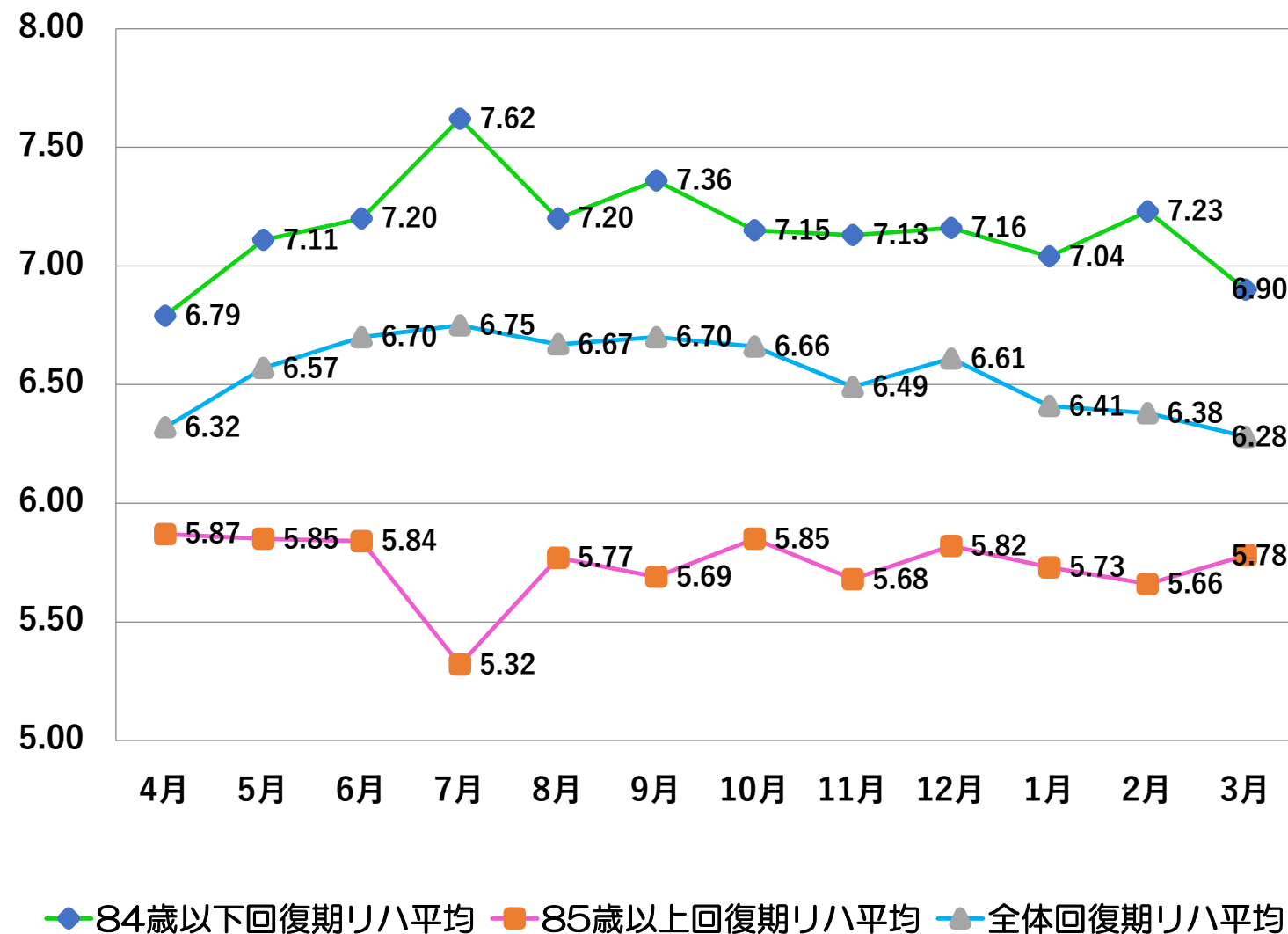
1患者1日あたりのリハビリ単位数

84歳以下：7.16単位

85歳以上：5.74単位

平均：6.55単位

84歳以下・85歳以上・全体回復期リハ平均の比較

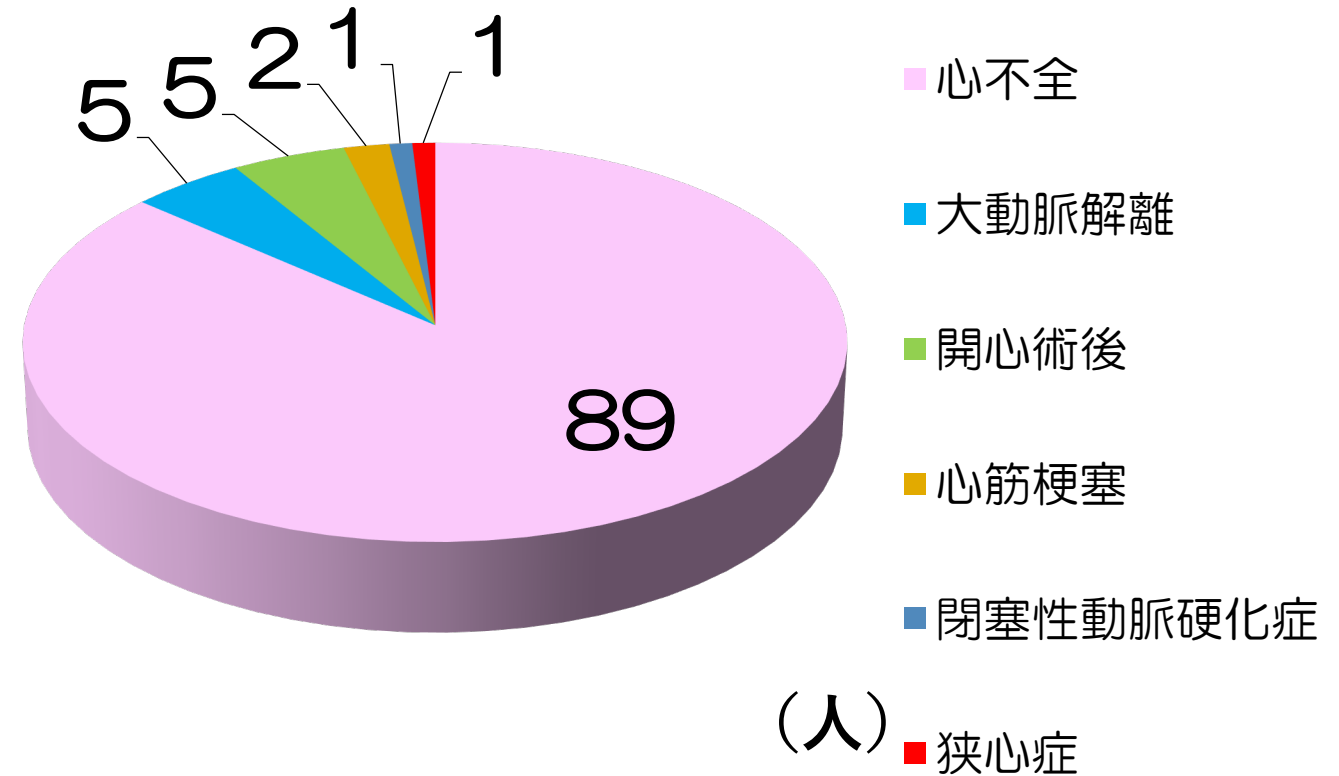


⑥心大血管リハビリテーション

1.疾患分類 (n=103)

心大血管リハビリテーションの疾患分類です。
「心不全」には慢性心不全やうっ血性心不全を含みます。

(全118例から死亡症例を抜いた103例)



⑦心大血管リハビリ

2.1患者1日あたりのリハビリ単位数

心大血管リハビリの1人あたりの介入平均単位は3.03単位の個別リハビリテーションを実施しております。



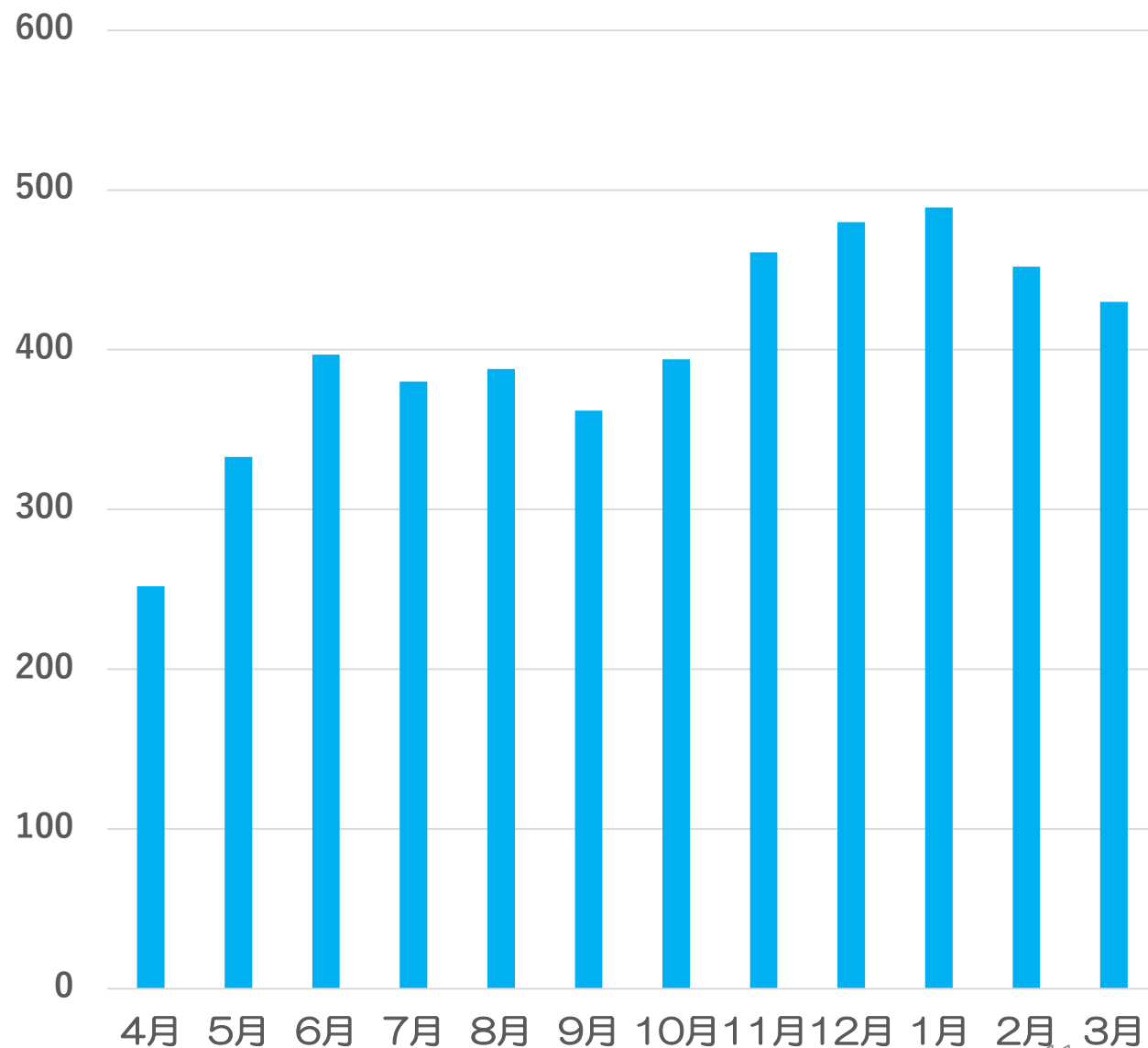


⑧摂食機能療法実施者数

月平均単位数

摂食機能療法は月平均399件（1単位=30分）の個別リハビリテーションを実施しております。朝・昼・夕に患者様の時間に合わせて介入しております。

2017年摂食機能療法月平均



1-Ⅱ. 退院患者

①2017年度回復期リハ病棟

最終退院先退院患者

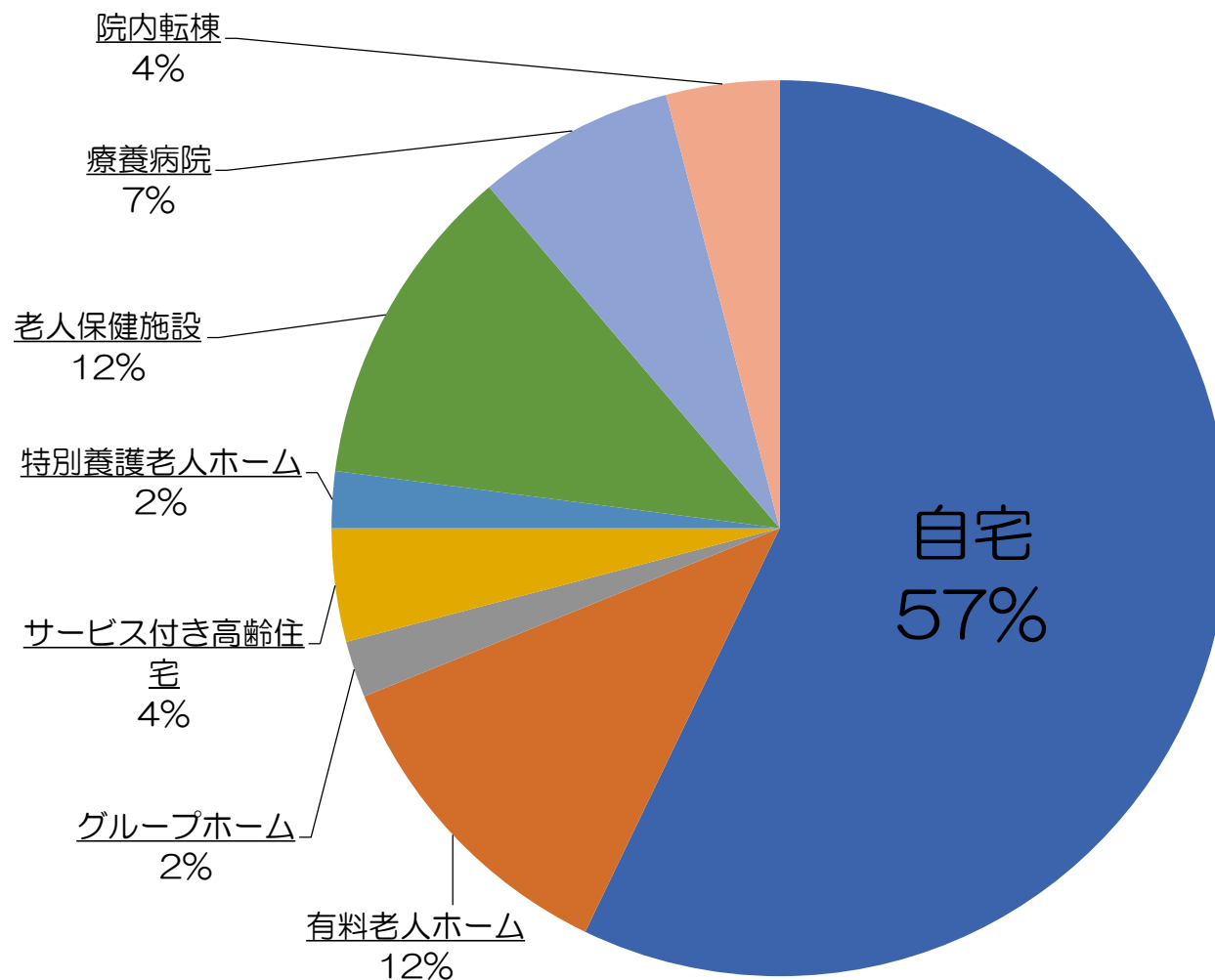
(急性期病院転院・死亡退院除く)

n=196

退院患者としては、在宅復帰率77%です。

(自宅・有料老人ホーム・グループホーム

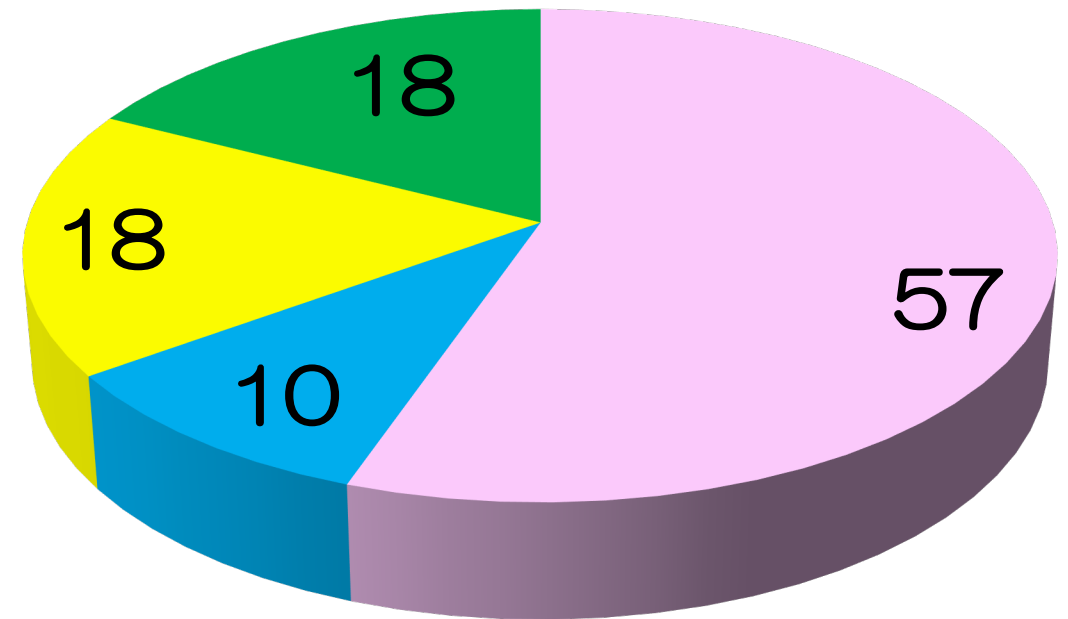
- ・特別養護老人ホーム
- ・サービス付き高齢者住宅 等)



②2017年度心大血管リハ対象者 最終退院先退院患者（n=103）

心大血管リハビリ症例中65%の、67名が
在宅もしくは在宅型施設へ退院することが
できました。

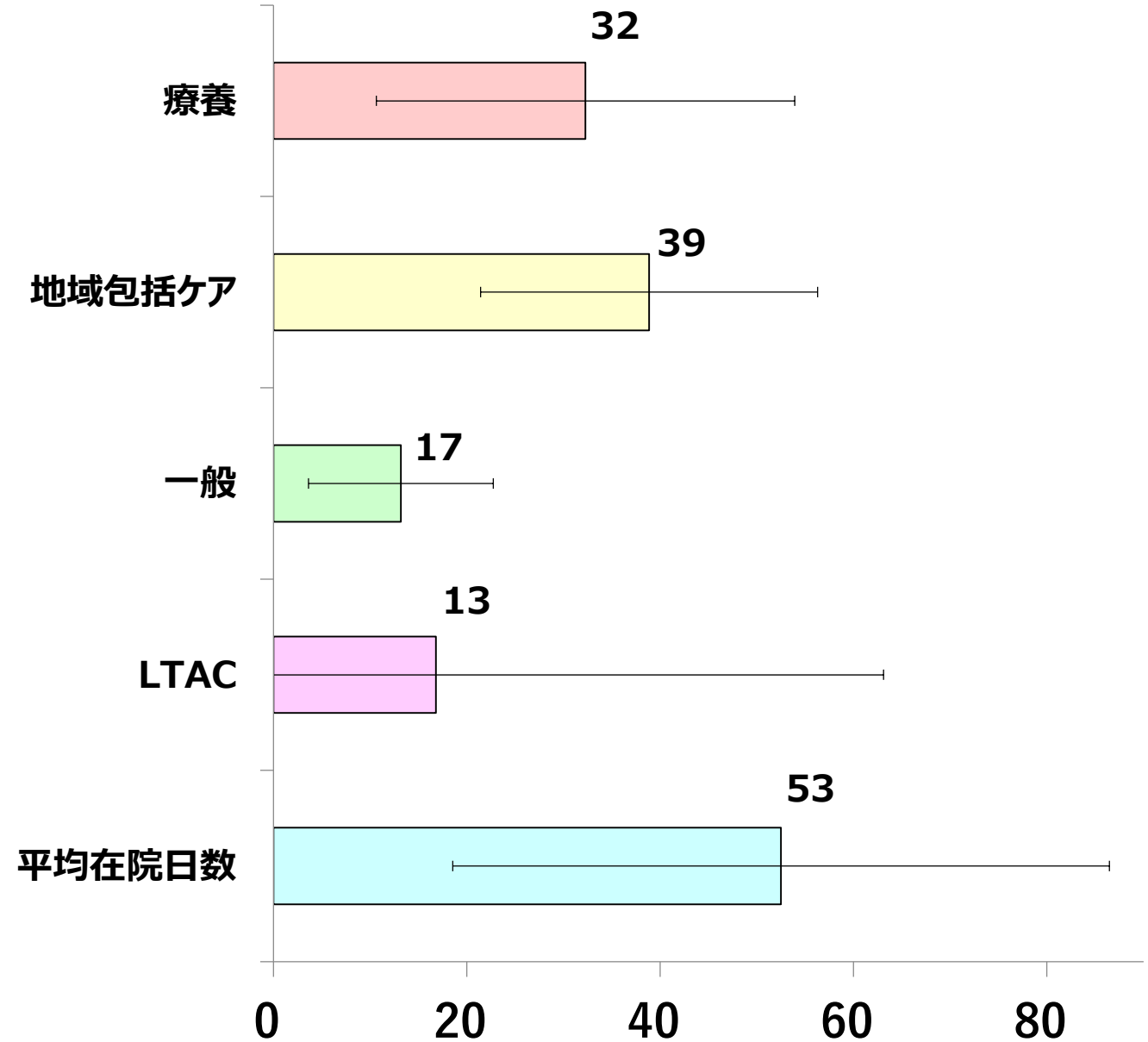
■ 自宅 ■ 在宅型施設 ■ 施設 ■ 転院



③心大血管リハ対象者

病棟別平均在院日数

各病棟（療養・地域包括ケア・一般・LTAC）
の心大血管リハ対象者の平均在院日数です。

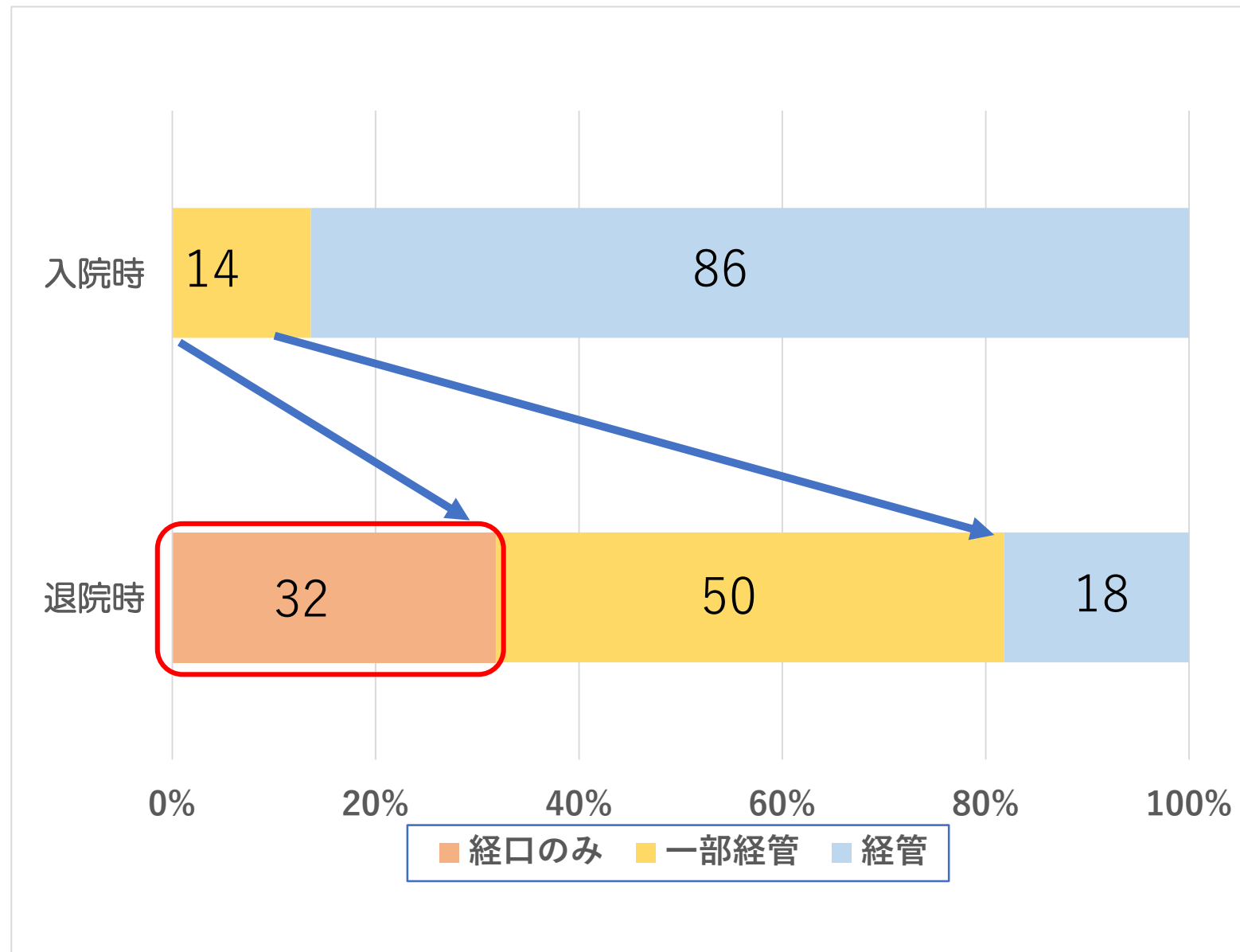


1-Ⅲ 経管栄養の状況

①経管栄養離脱率

回復期リハ病棟の摂食機能療法 (n=66)

摂食機能療法対象者の経管栄養の状態で当院に入院された方66名の内、32%の方が退院までに3食経口摂取が可能。50%の方が一部経口摂取可能と改善しております。



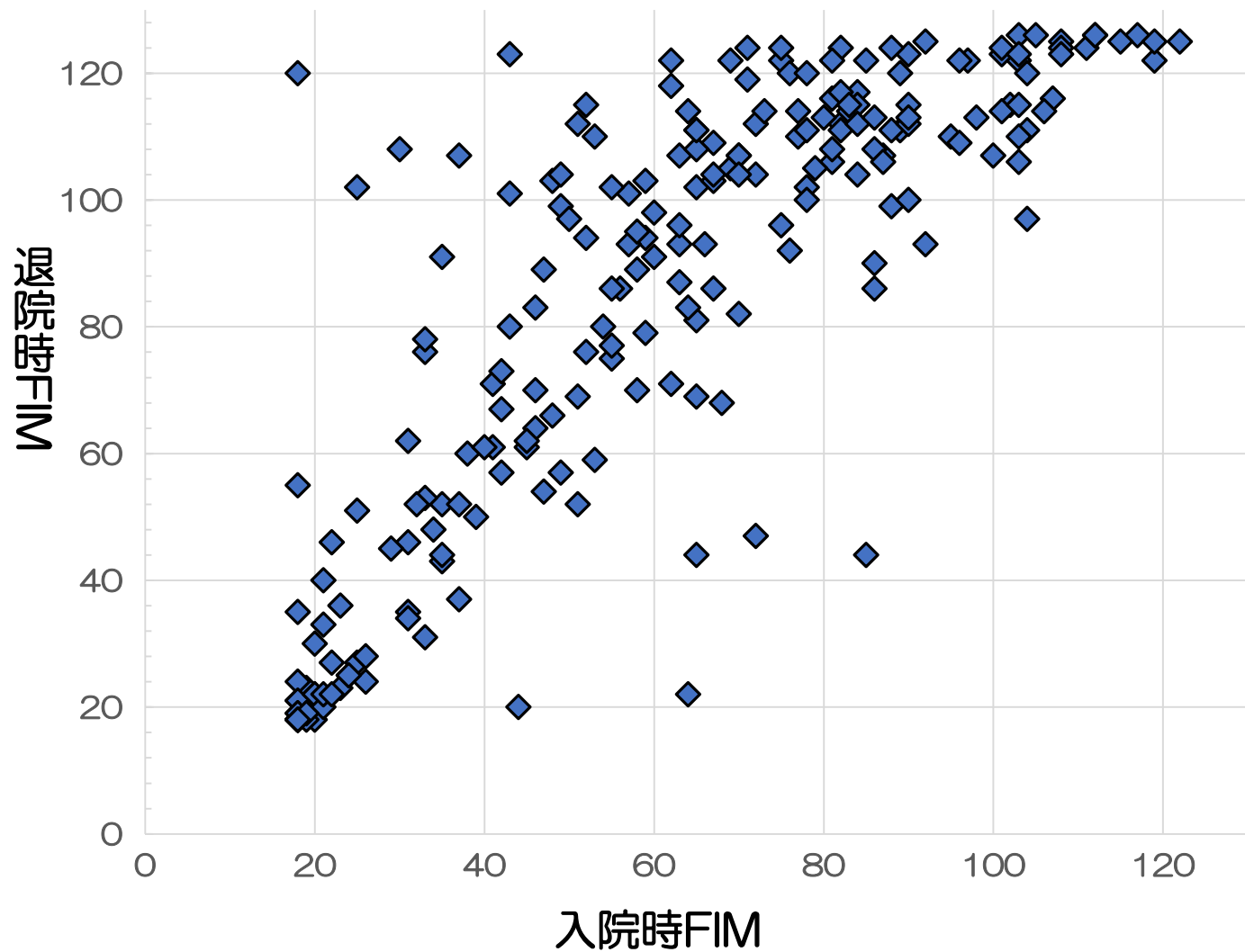
1-Ⅳ リハビリによる改善

①回復期リハ病棟

FIM入院時・退院時の散布 (n=226)

日常生活の自立度の指標である
FIM (Functional Independence Measure) の
利得 (退院時FIM -入院時FIM) は
平均で22.08点改善しています。

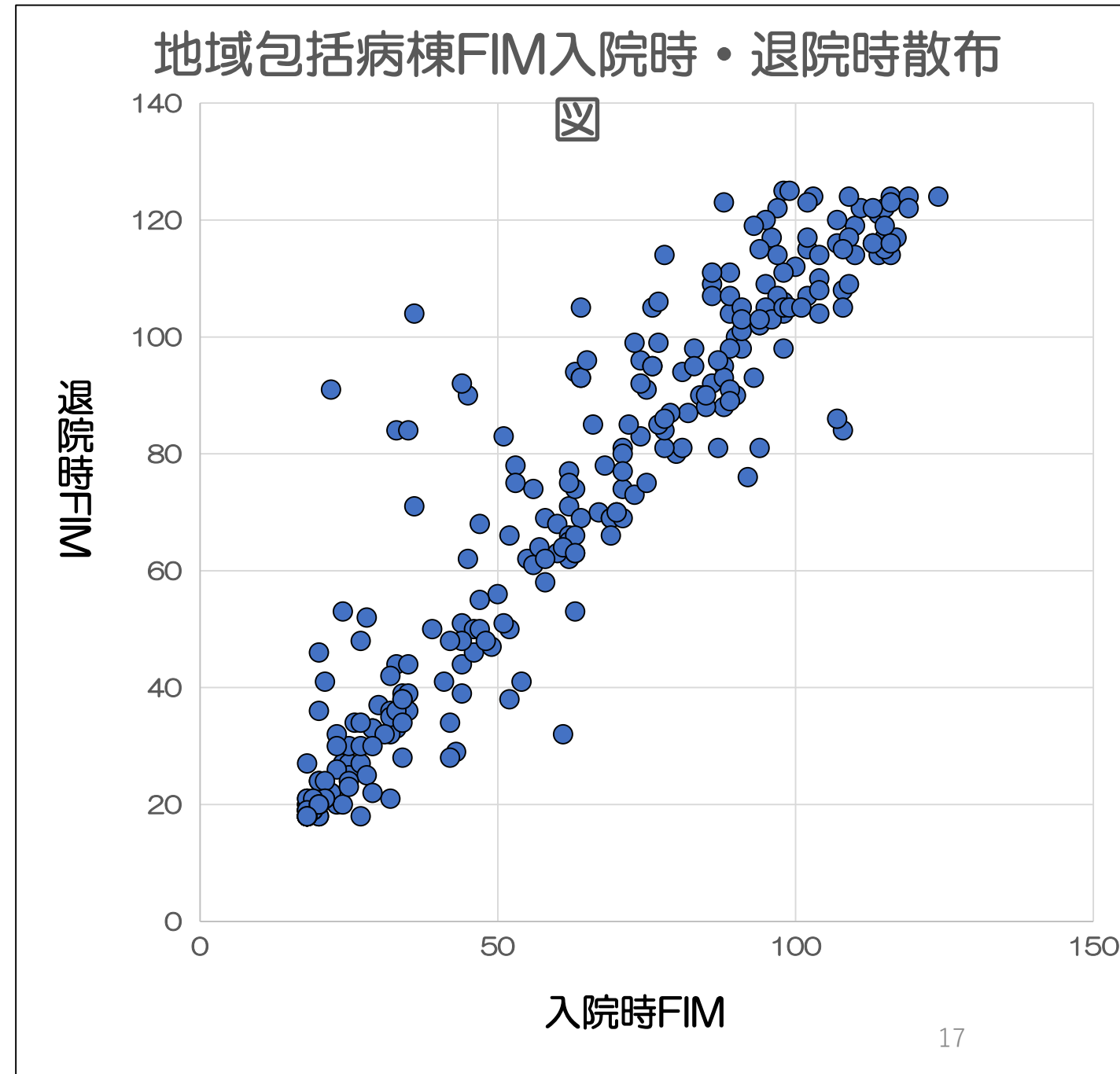
回復期病棟FIM入院時・退院時散布図



②地域包括病棟

FIM入院時・退院時の散布 (n=286)

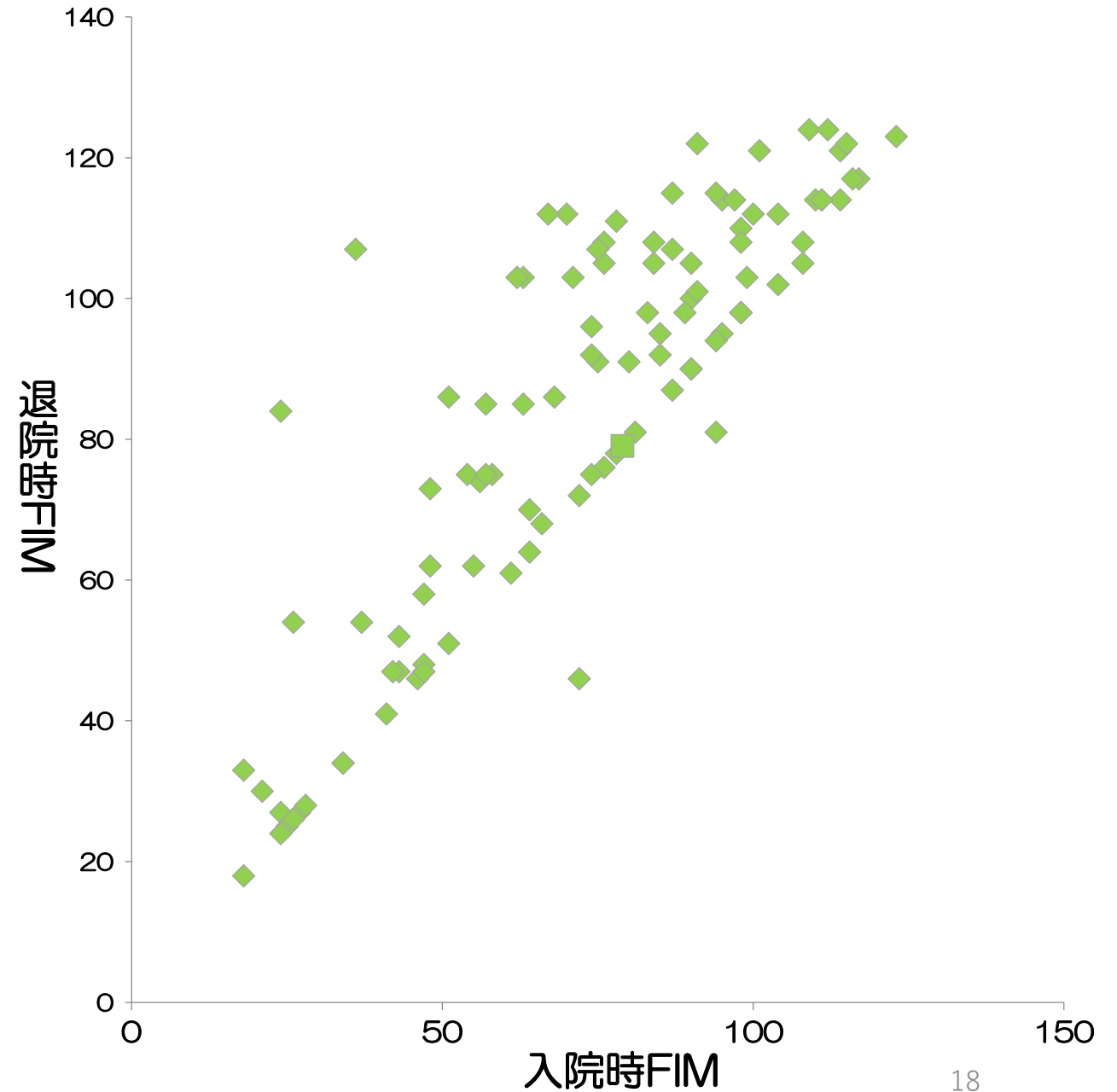
日常生活の自立度の指標であるFIM
(Functional Independence Measure) の
利得 (退院時FIM - 入院時FIM) は
平均で7.32点改善しております。



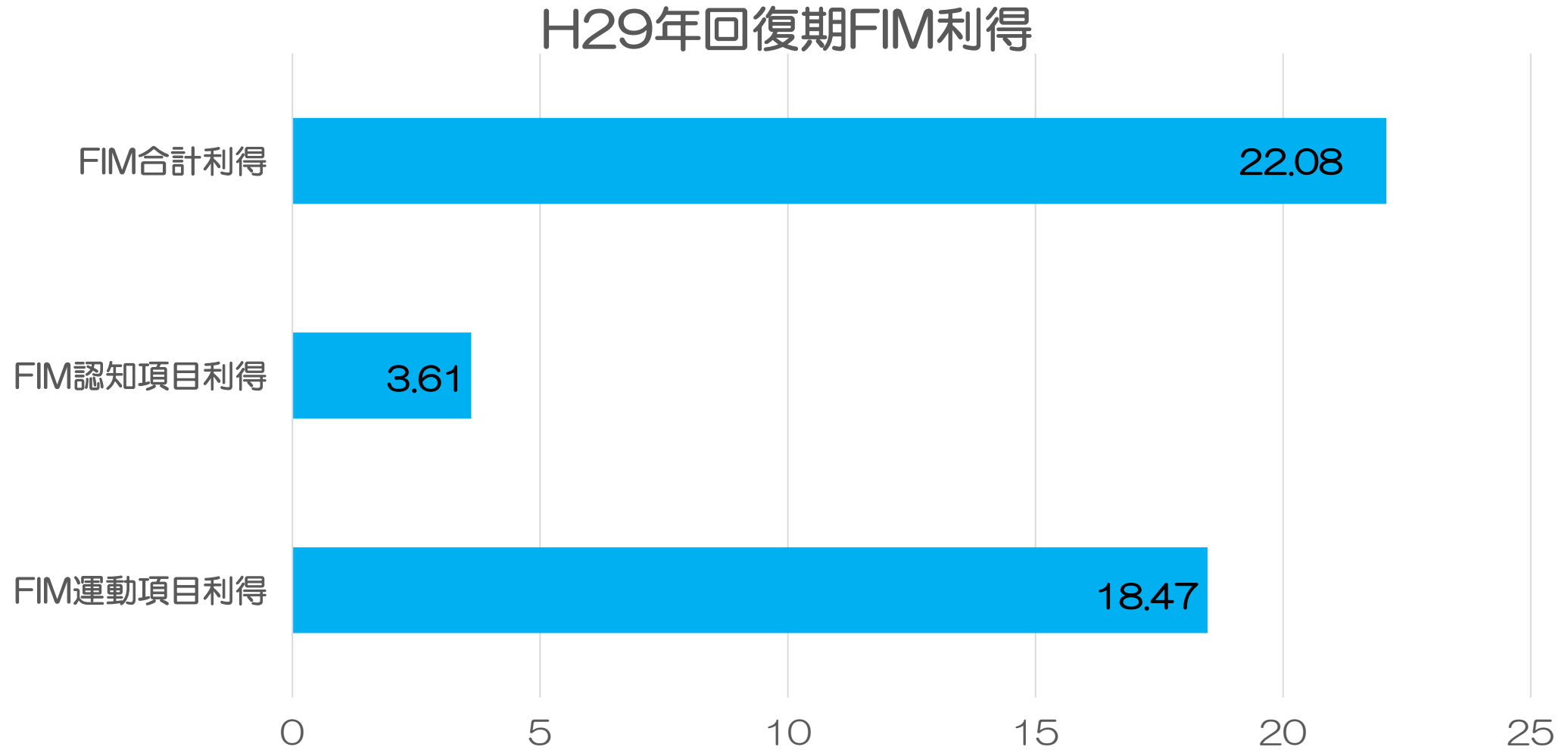
③心大血管リハ対象者

FIM入院時・退院時の散布図 (n=103)

日常生活の自立度の指標であるFIMの利得は
平均で11.51点改善しております。

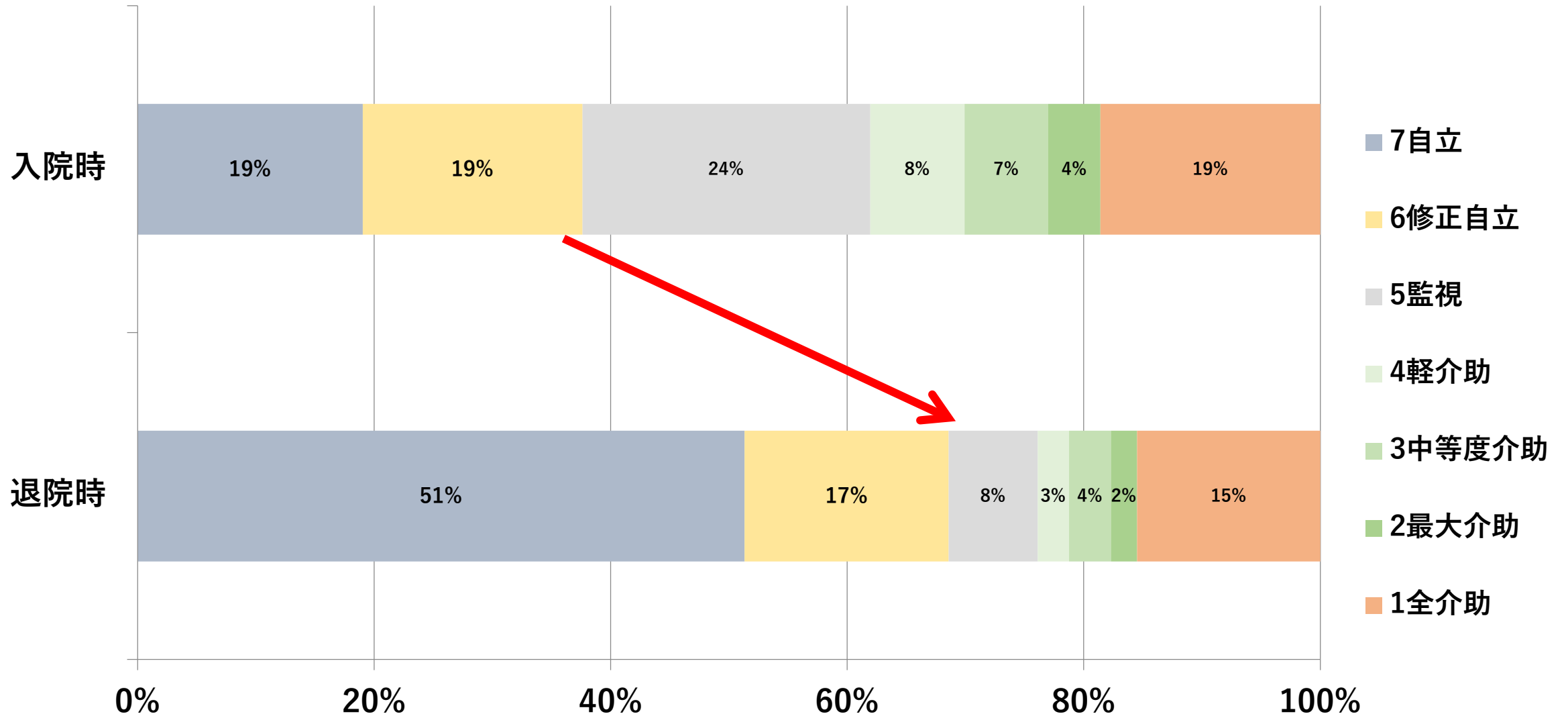


④FIMの改善（回復期リハ病棟:FIM利得）



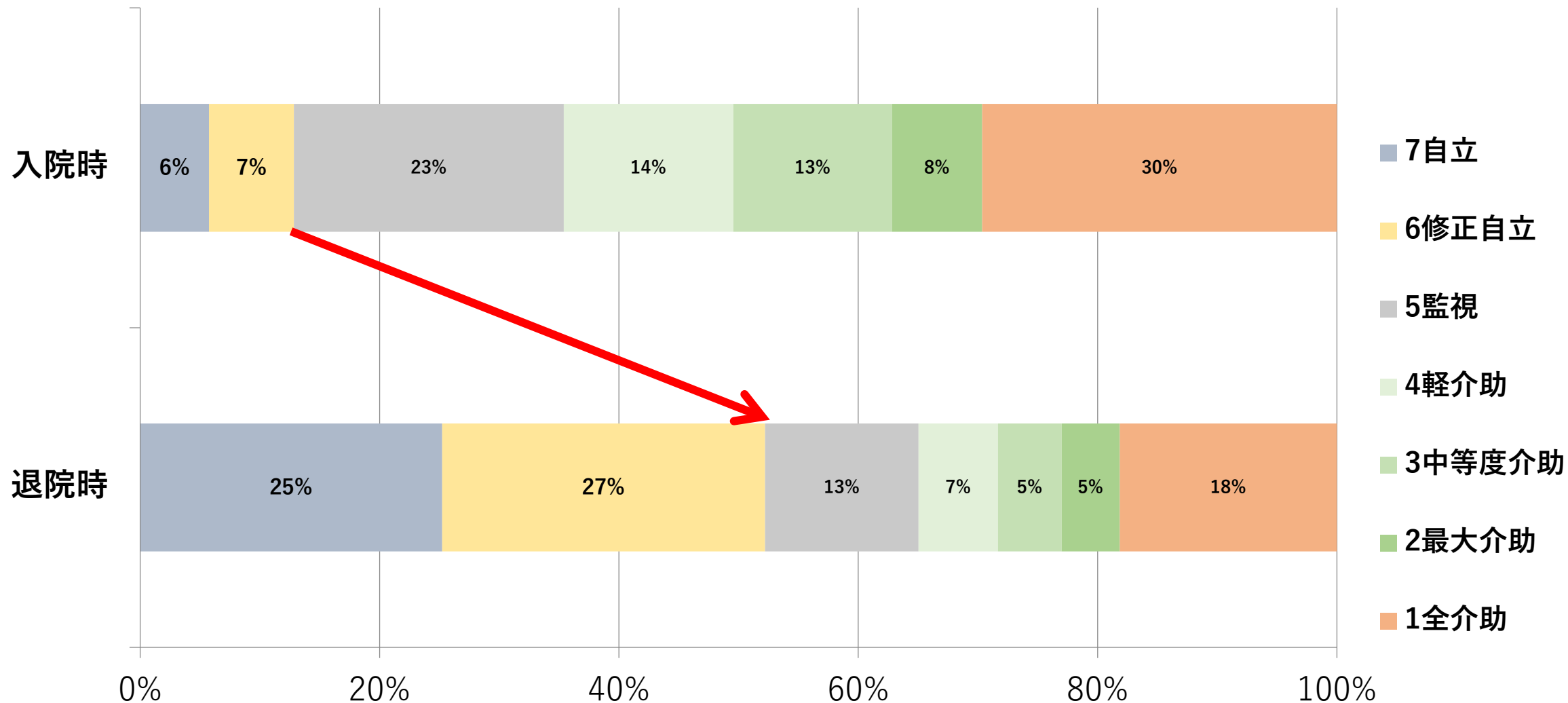
⑤食事 FIMの改善（回復期リハ病棟）

食事FIM(n=226) 38%⇒**68%**（6点以上になった割合）



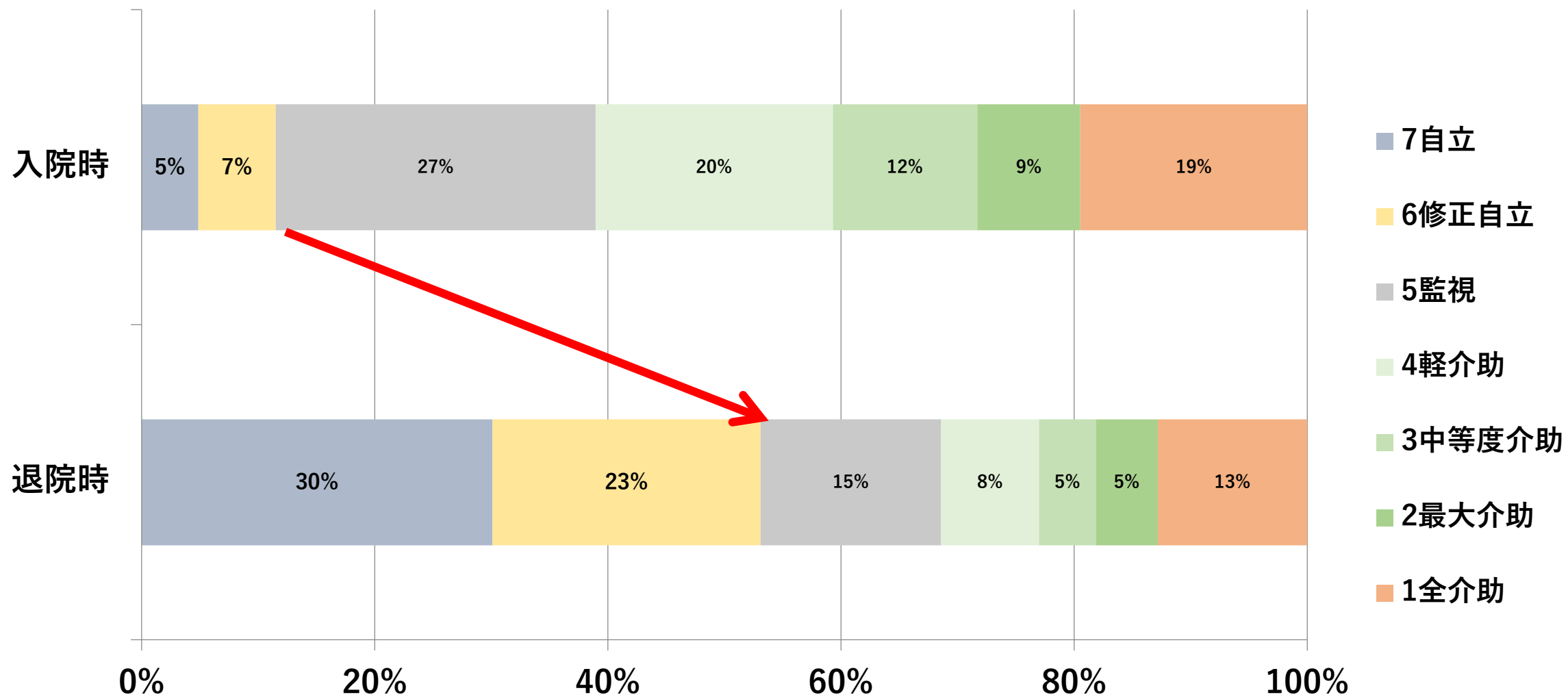
⑥トイレ FIMの改善（回復期リハ病棟）

トイレFIM(n=226) 13%⇒**52%**（6点以上になった割合）



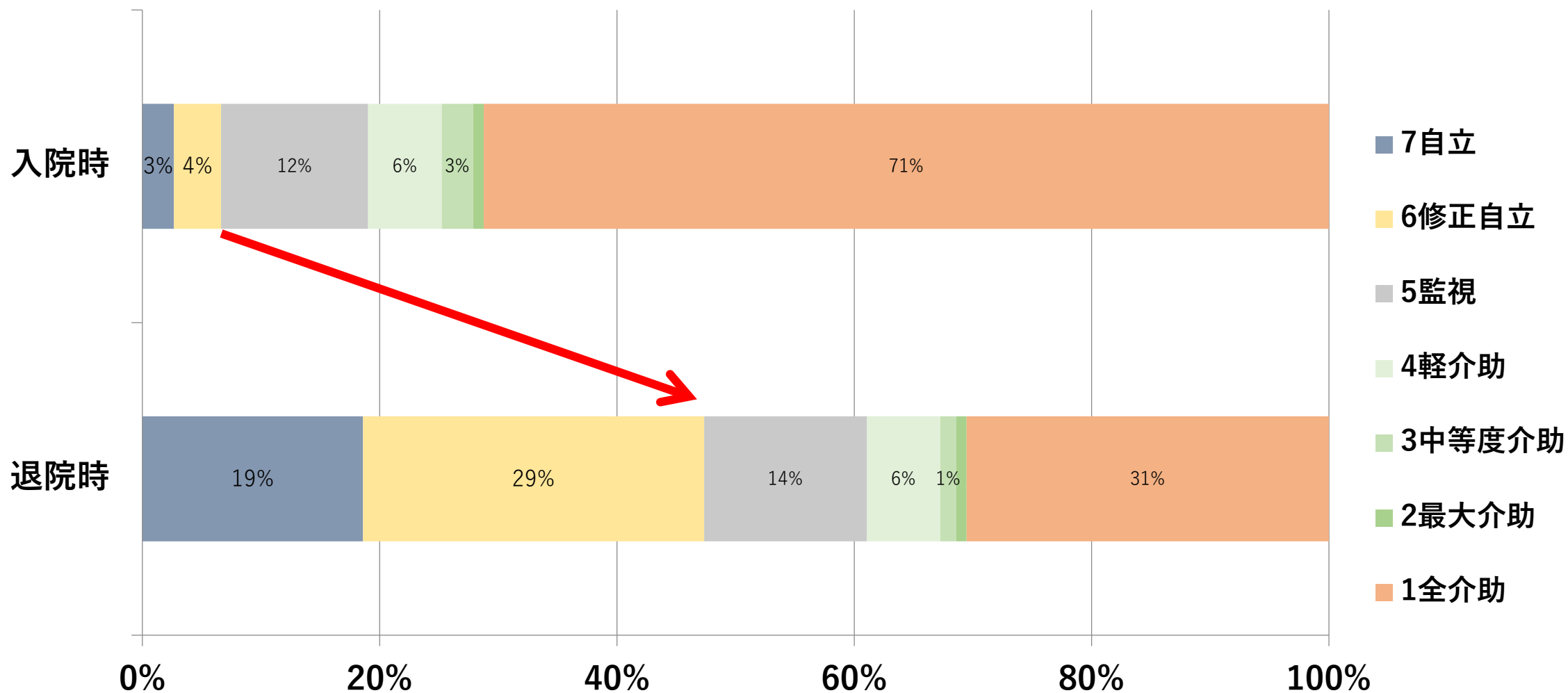
⑦移乗 FIMの改善（回復期リハ病棟）

移乗FIM(n=226) 12%⇒**53%**（6点以上になった割合）



⑧移動 FIMの改善（回復期リハ病棟）

移動FIM(n=226) 7%⇒**48%**（6点以上になった割合）



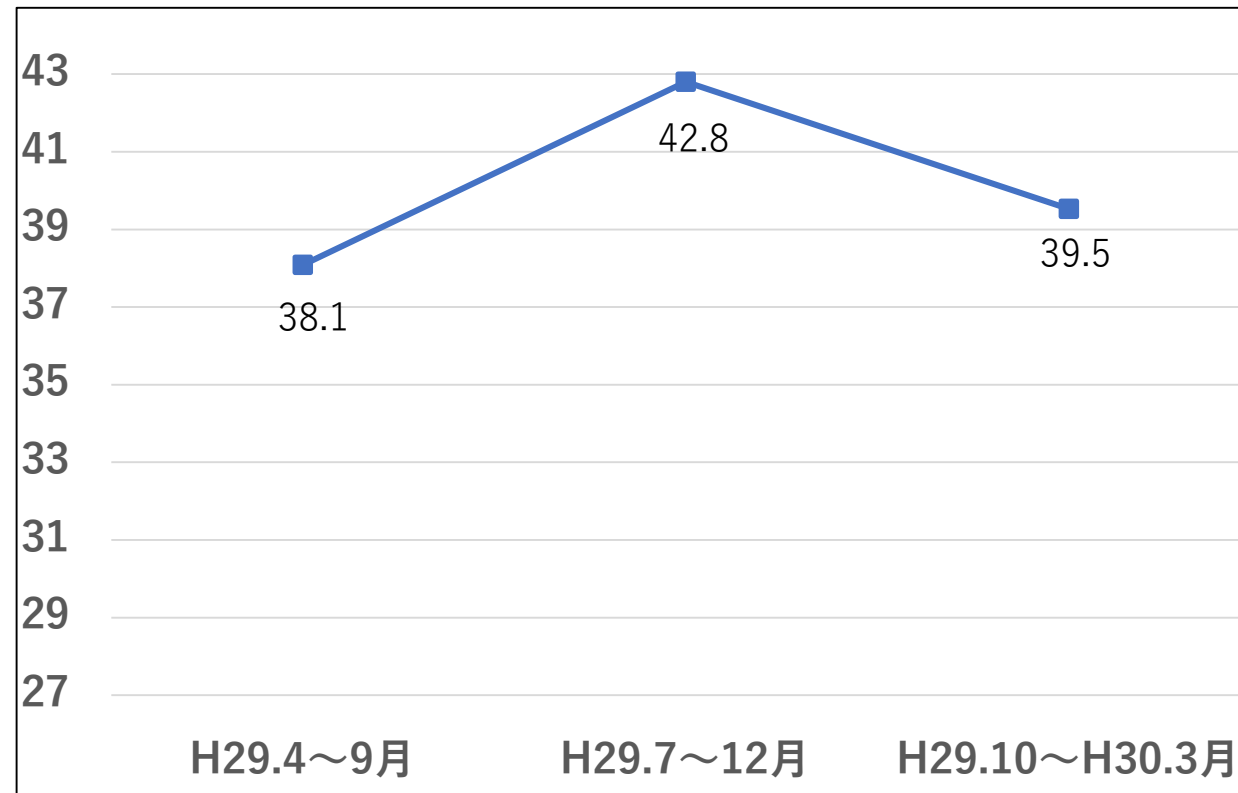
⑨2017年度回復期リハ病棟実績指数（アウトカム）

リハビリテーション実績指数とは、FIM 得点の改善度を、患者の入棟時の状態および在院日数を踏まえて指数化したものです。

以下の式により算出します。

$$\text{実績指数} = \frac{(\text{退棟時のFIM 運動項目の得点} - \text{入棟時のFIM 運動項目の得点})}{(\text{各患者の入棟から退棟までの日数} \div \text{患者の入棟時の状態に応じた算定上限日数})}$$

厚労省の基準では、実績指数が「27 以上」であれば、一定の基準以上のリハビリテーションを提供していると判断されます。



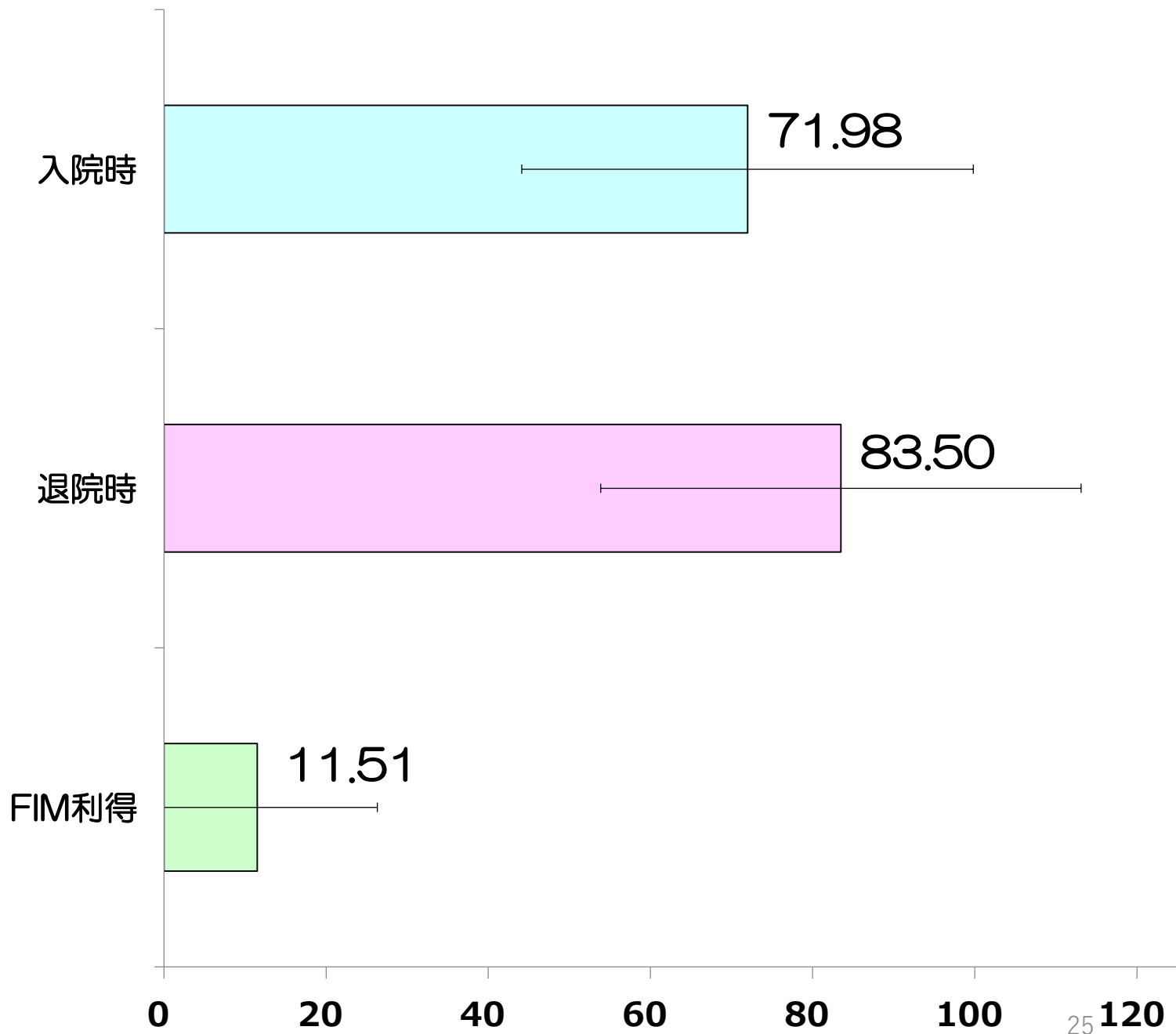
⑩FIMの改善

(心大血管リハ:FIM利得)

(n=103)

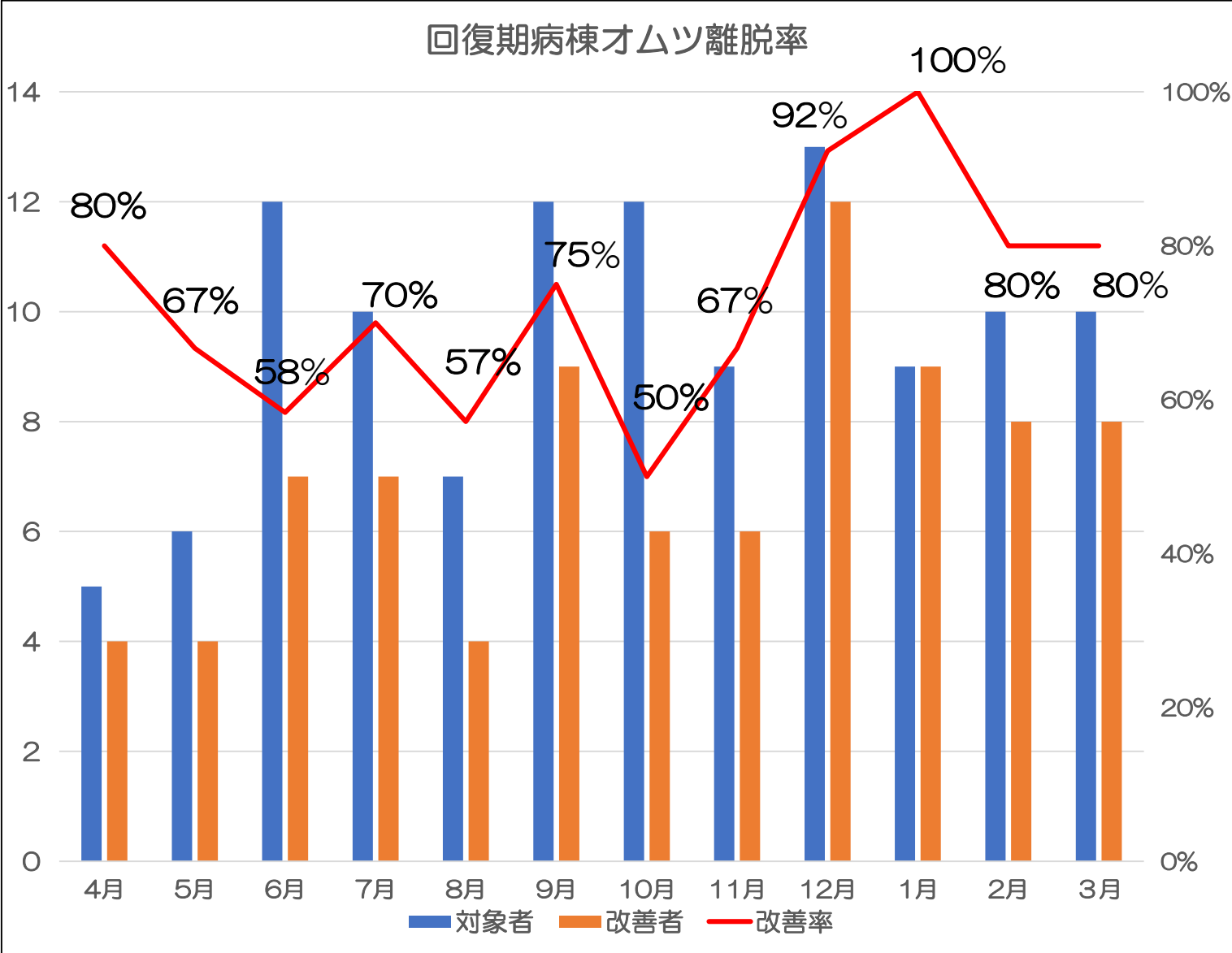
FIM利得算出方法

=退院時FIM - 入院時FIM



⑪オムツ離脱率（回復期リハ病棟） （n=115）

回復期病棟へ入棟された方のうち、
平均73.0%の方がオムツを外す
もしくはリハビリパンツや布パンツへ
移行をしております。



⑫摂食嚥下能力のグレード (回復期リハ病棟) (n=66)

摂食機能療法対象者の摂食嚥下能力について、3食安全に食事が可能な方の割合が、64%から74%と向上がみられています。

- (摂食嚥下能力のグレード)
- Ⅳ 正常

10：正常の摂食嚥下能力
- Ⅲ 軽症 経口で栄養可

9：常食の経口摂取可能臨床的観察と指導を要する

8：特別に嚥下しにくい食品を除き3食経口摂取

7：嚥下食で3食とも経口摂取
- Ⅱ 中等度 経口と補助栄養

6：3食経口摂取プラス代替栄養

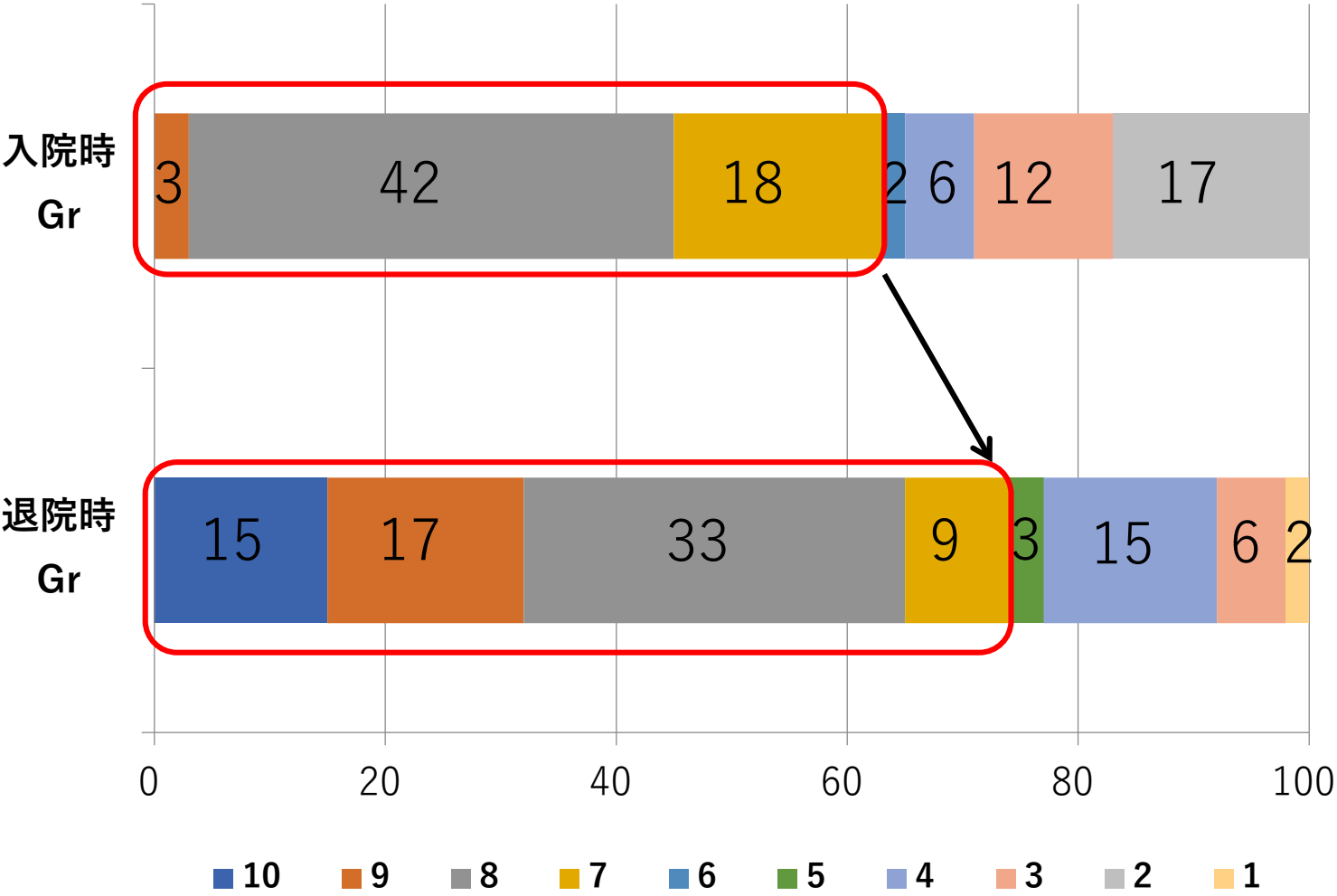
5：一部(1～2食)経口摂取

4：楽しみとしての摂取は可能
- Ⅰ 重症 経口不可

3：条件が整えば誤嚥は減り、摂食訓練が可能

2：基礎的嚥下訓練のみの適応

1：嚥下困難または不能



⑬5m歩行速度の改善（心大血管リハ）

（n=36）

入院時、退院時ともに歩行することが可能であった症例の5m歩行スピードの平均値です。危険率1%以下の有意な改善が認められております。

（秒）

12.0

10.0

8.0

6.0

4.0

2.0

0.0

入院時

退院時

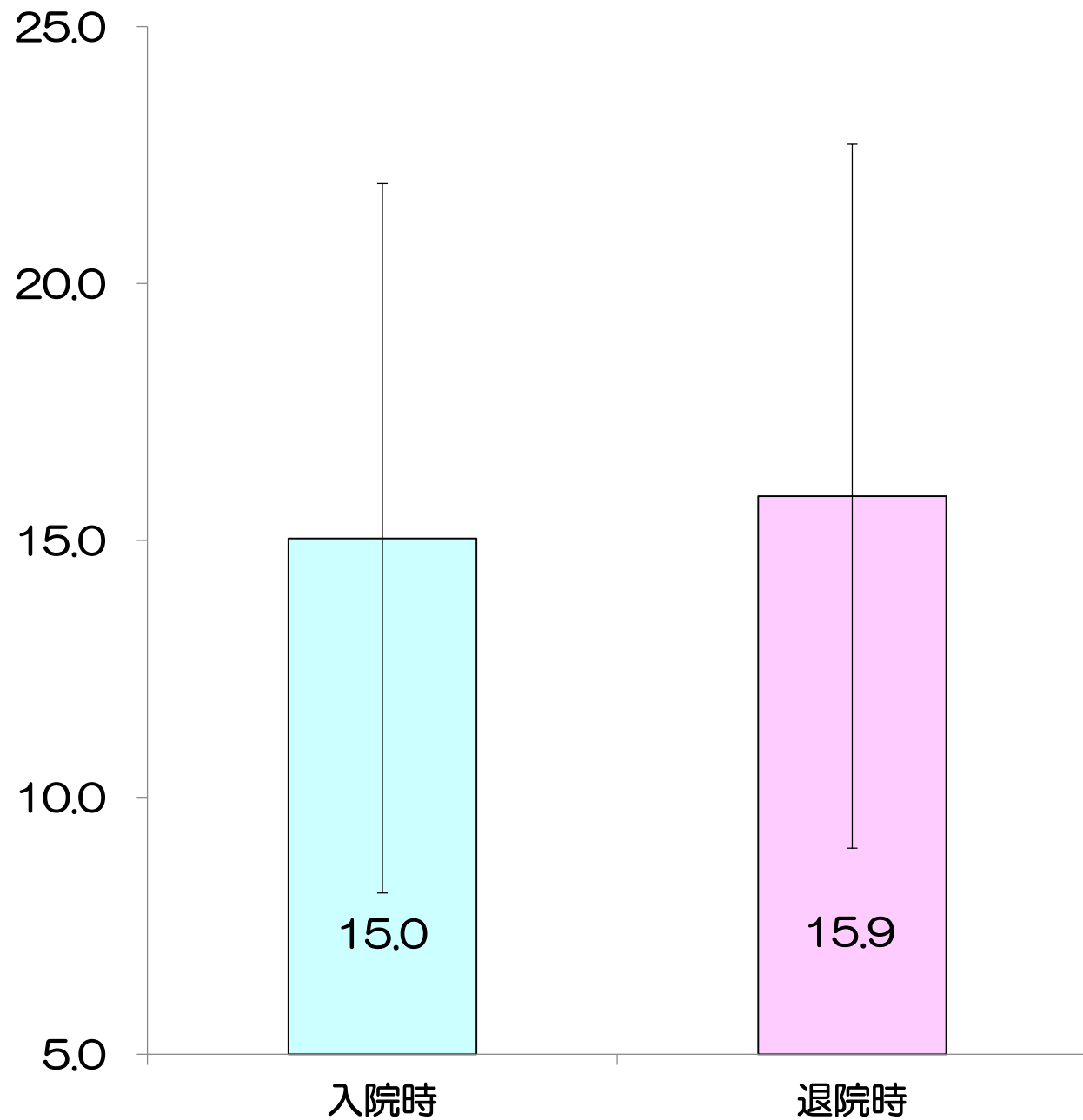
8.4

7.1

⑭握力の変化（心大血管リハ）

（n=51）

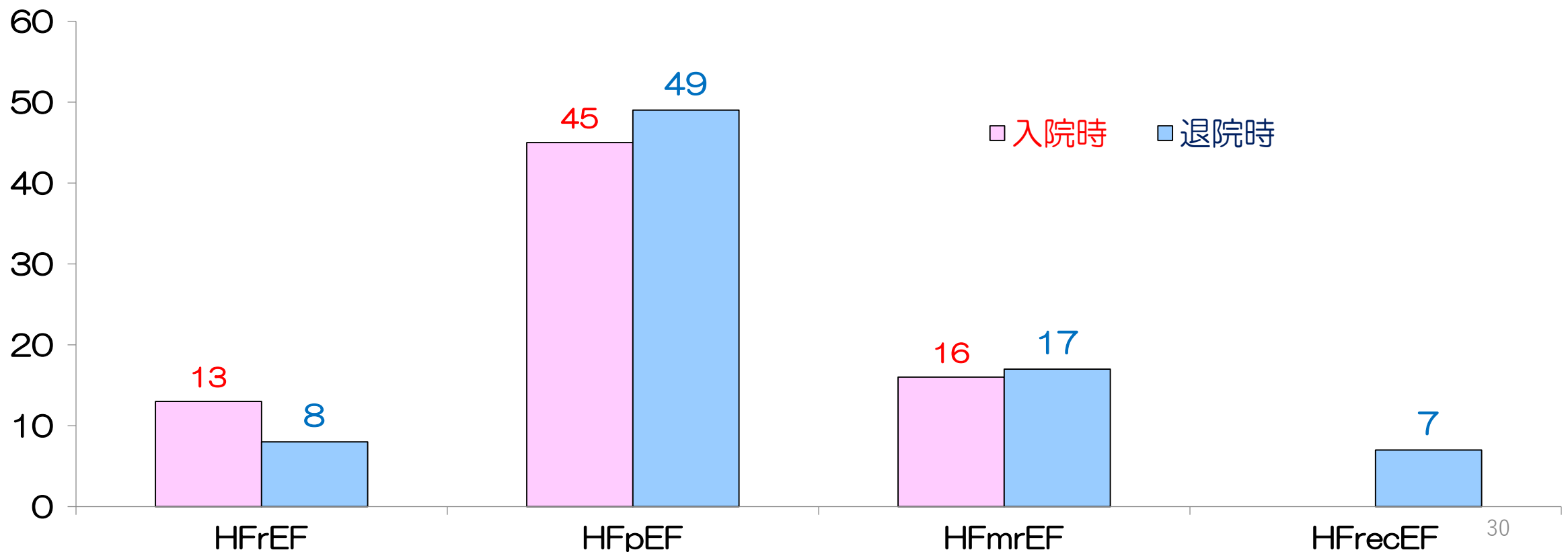
入院時、退院時ともに測定が可能であった症例の握力です。有意な変化は認められませんでした。



⑮ LVEFによる心不全分類（心大血管リハ）

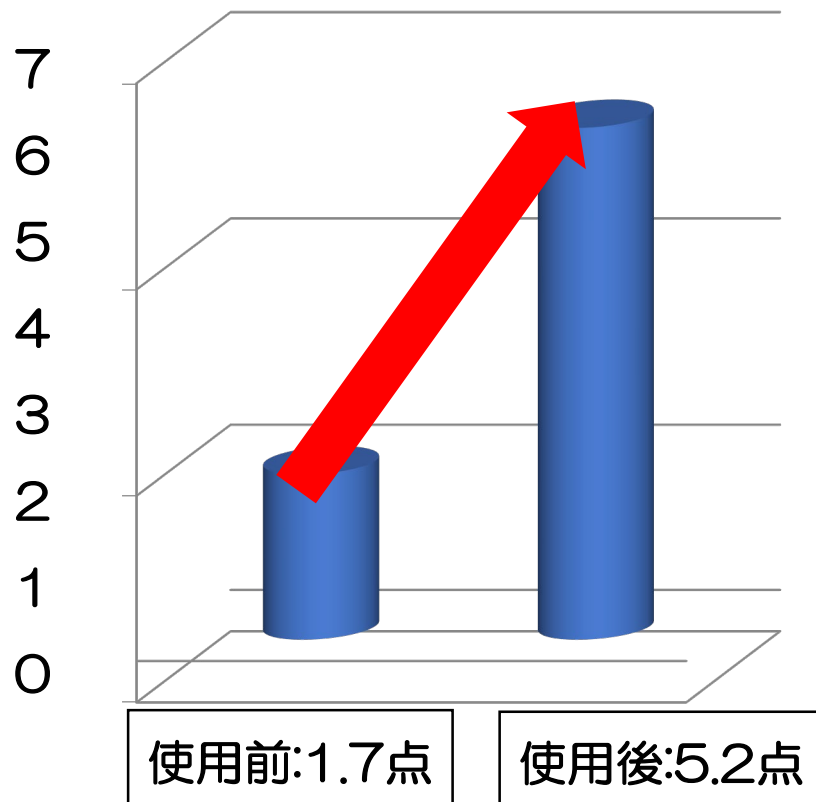
(n=74)

日本循環器学会の急性・慢性心不全診療ガイドライン（2017年改訂版）で分類わけされた、LVEFによる心不全分類の内訳です。その中で、HFrecEF症例を7例確認できました。



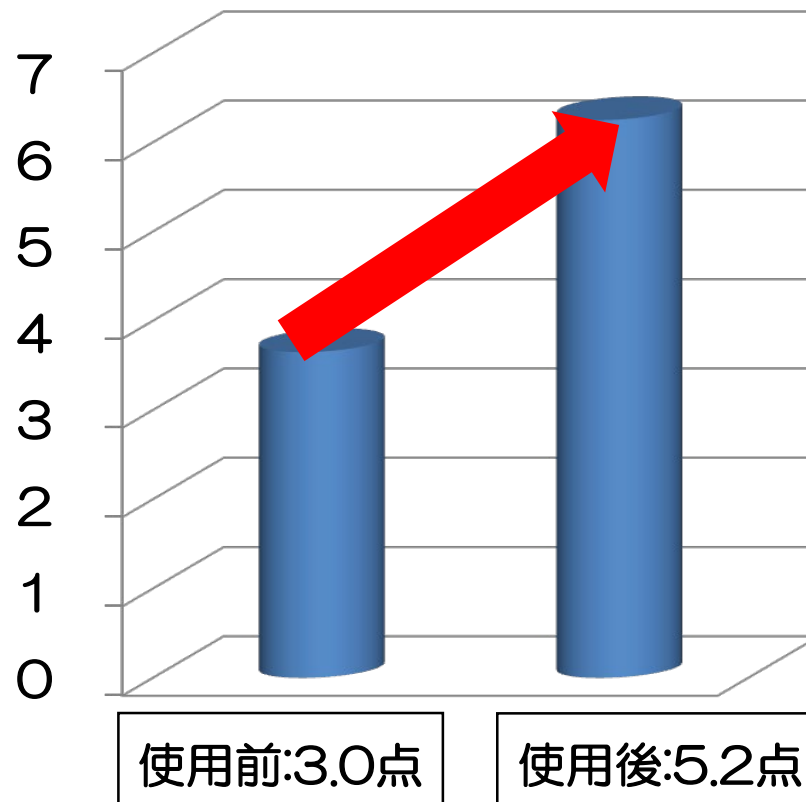
⑩2017年度 ウォークエイドFIM改善点数

使用者：n=24



移動FIM

平均3.5点/人

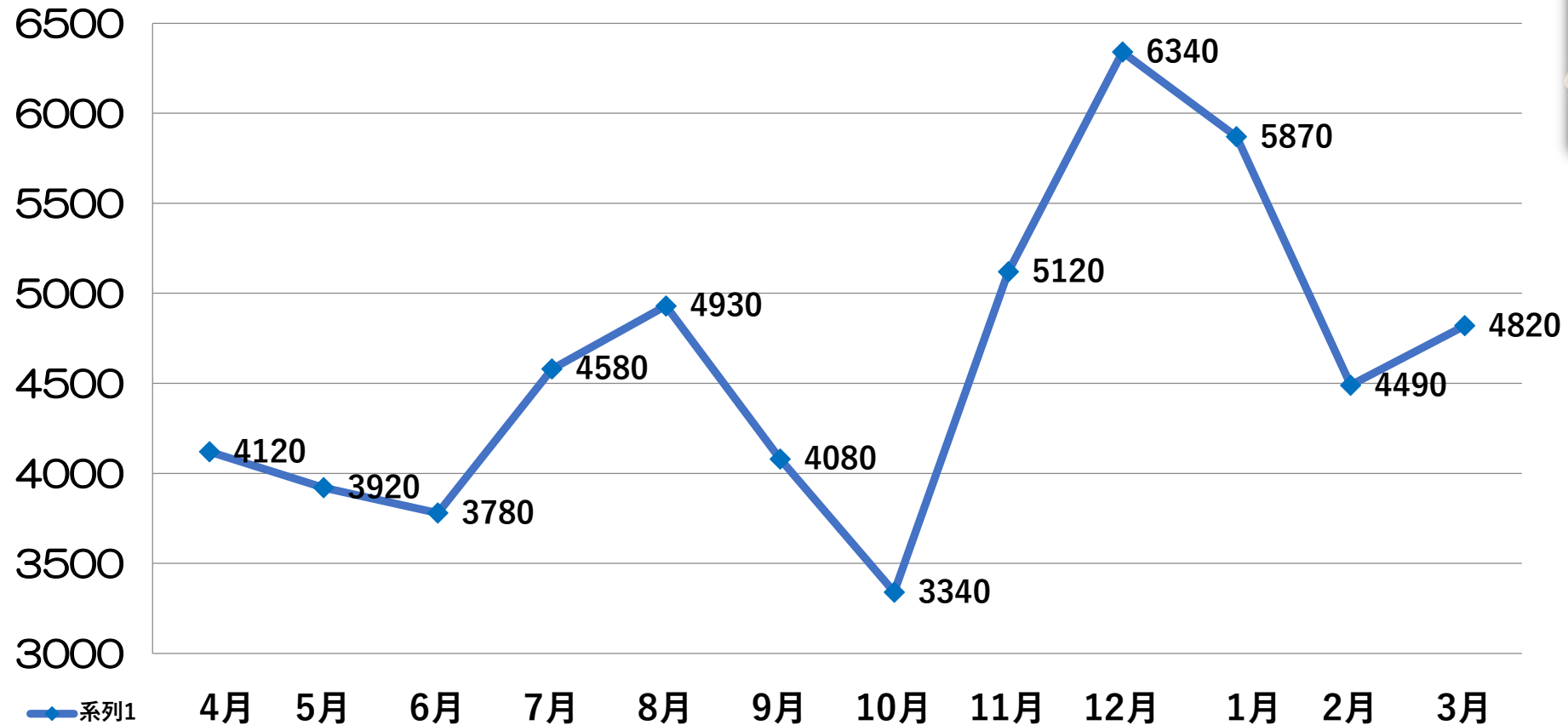


移乗FIM

平均2.2点/人



⑪2017年度 ウォークエイド実績 月別使用時間



平均:月4616分→平均:1日152分

⑮2017年度 ウォークエイド実績 年間病棟別使用割合

